

●■■■ 新しく建った図書館 ■■■●

『念願の図書館オープン』

多古町立図書館

多古町立図書館は、平成28年4月15日に多古町初の図書館としてオープンしました。

多古町では長らく公民館図書室を運営していましたが、震災被害を受け、閉館を余儀なくされました。その後は、多古町コミュニティプラザの一角をパーテーションで区切り、仮設の図書室として供用していましたので、図書館は多くの町民が待ち望んでいた施設でありました。

● 特長

◆ 学童保育所との複合施設です。多古第一小学校の隣接地にある旧多古幼稚園の建物を改修しました。教室の雰囲気が残っており、利用者からは、郷愁を感じて非常に親しみやすいという声をいただいています。「出会いとやすらぎのある図書館」をテーマに、地域に溶け込み本との出会いだけでなく人との出会いの場ともなるように、子供から高齢の方まで幅広い方の憩いの場を目指しています。

◆ 幼児閲覧室、児童閲覧室、一般閲覧室、学習室の四つの部屋があり、各部屋には多古町にちなんだ花の名前がつけられています。また、ロビーでは飲食可、廊下の閲覧スペースでは飲み物可となっており、ゆっくりと読書を楽しんでいただけます。

◆ 幼児閲覧室「なのはな」では靴を脱いで入っていただき、広いスペースで座りながら親子で一緒に本を読んでもいただけるようになっています。また、この部屋では絵本の読み聞かせ会なども行っています。

◆ 全22席の学習室「さざんか」は、落ち着いた環境で学習ができると好評です。特に学校のテスト期間中には熱心な学生たちの利用で賑わっています。

● 概要

- 延床面積 646.12㎡
(施設全体では1,047.66㎡)
- 蔵書冊数 約27,000冊
- 駐車場 15台(学童保育所と兼用)



▲ 多古町立図書館外観



▲ 幼児閲覧室「なのはな」



▲ 学習室「さざんか」

(多古町立図書館 館長 内藤久義)